



わたしの“推し”本

書名 アルジャーノンに花束を

著者名 ダニエル・キイス

出版社 早川書房

ご感想、おすすめポイントなどご自由にお書きください。

主人公が書く“けいかほこく”を読んで行く。

主人公が幼児の知能しかたない時から、超知能を手に入れた時、

そして最後には……。

その変化を第三者が説明するのはなく、“けいかほこく”から  
“経過報告”を読むことで、主人公の気持ちに近づけるように思う。

アルジャーノンは白ネズミのこと。「高いIQをもつよりも、もっと大事な  
ことがあるよ」という彼女の言葉。

ジャンルはSF小説らしいが、サイエンスフィクションと  
言われるとあたしにはしっくりくる。

